

Ⅶ 普及指導員の活動実績

1 森林とみどりの担い手養成セミナー（再掲）

研修期間	講座名	開催場所	参加人員 (人)	研修方法	備考
7/1-4	森づくり技術講座	せたな町	16	講義・実習	「森づくり」を志す人
7/15-18	森づくり技術講座	北見市	13	〃	〃
8/5-8	森づくり技術講座	旭川市	8	〃	〃
9/2-5	森づくり技術講座	林業試験場	24	〃	〃

2 研修活動（再掲）

（1）林業普及指導員に対する研修

研修期間	講座名	開催場所	参加人員 (人)	研修方法	主催者
4/23-25	林業普及指導員研修（指導能力向上）	林業試験場	5	全体討議	森林環境局森林活用課
9/9-11	林業普及指導員研修（総合課題解決能力向上）道北・道東ブロック	北見市ほか	10	全体討議	森林環境局森林活用課
9/17	森づくりセンター普及推進係長会議	札幌市	25	全体討議	森林環境局森林活用課
9/17-18	伐採事業費並びに採材研修	乙部町	6	講義・実習	檜山森づくりセンター
9/25-26	トドマツ人工林の除・間伐施業技術研修会	倶知安町ほか	12	講義・実習	後志森づくりセンター
10/7-9	林業普及指導員研修（総合課題解決能力向上）道央・道南ブロック	苫小牧市	9	全体討議	森林環境局森林活用課
10/20-21	森林施業技術検討会	当麻町ほか	17	講義・実習	上川南部森づくりセンター
10/21	森林施業技術検討会	深川市ほか	24	現地検討	空知森づくりセンター
10/22	高性能林業機械を使用した低コスト作業システム研修会	釧路市音別町	21	現地検討	釧路森づくりセンター
11/5-6	低コスト林業に向けた施業方法の検討	南富良野町	21	講義・実習	上川南部森づくりセンター

（2）林業後継者に対する研修

研修期間	講座名	開催場所	参加人員 (人)	研修方法	主催者
6/2-13	基幹林業労働者研修（Ⅰ期） （測量・測樹・造林）	林業試験場	5	講義・実習	(社)北海道造林協会
6/16-7/9	基幹林業労働者研修（Ⅱ期） （林業機械・森林保護）	〃	5	〃	〃
6/26	緑の雇用担い手対策・技術高度化研修	恵庭市	27	〃	〃
7/7-25	新林業機械作業システム技術者育成研修	林業試験場	12	〃	(社)北海道林業機械化協会
7/10-8/1	基幹林業労働者研修（Ⅲ期） （林業機械・森林保護）	〃	5	〃	(社)北海道造林協会

3 普及指導（再掲）

研修期間	講座名	開催場所	参加人員 (人)	主催者
7/26	夏休みグリーンフェスティバル	林業試験場	380	林業試験場
9/8-11	職場研修（安全衛生特別教育）	興部町	21	網走西部森づくりセンター
9/9-11	安全衛生特別教育研修	林業試験場	20	林業試験場
9/30-10/3	職場研修（安全衛生特別教育）	厚岸町	32	釧路森づくりセンター
10/30-31	職場研修（安全衛生教育）	苫小牧市	26	胆振森づくりセンター
11/4-6	職場研修（安全衛生特別教育）	留萌市	14	留萌森づくりセンター
11/25-28	職場研修（安全衛生特別教育）	函館市	28	渡島東部森づくりセンター

4 調査研究

（1）林業技術現地適応化モデル林の調査

実施期間	課題	設定場所	設定年度	経過年数	設定支庁
5/12-13	林業機械による間伐作業システム	上士幌町	1997	11年(第3次)	十勝支庁
10/22-23	広葉樹林（ミズナラ）施業モデル林	幕別町	1993	15年(第4次)	十勝支庁
10/23-24	クロエゾマツ密度管理技術の実証	浜頓別町	2008	新規	宗谷支庁
11/4-6	広葉樹人工林育成モデル林	平取町	1998	10年(第3次)	日高支庁
11/12	ウダイカンバ人工林施業モデル林	むかわ町	2003	5年(第2次)	胆振支庁

（2）調査研究

実施期間	課題	設定場所	設定支庁
10/21-22	カラマツ皆伐・再造林意向調査	中富良野町、占冠町、南富良野町	上川支庁
10/27-28		厚真町、安平町	胆振支庁
10/30-31		美瑛町、旭川市	上川支庁
11/19		標茶町	釧路支庁
12/15-16		旭川市、鷹栖町	上川支庁
12/18-19		厚真町、むかわ町	胆振支庁
9/8-12	低コスト作業システム現地調査	名寄市	上川支庁
4/9-10	カラマツ高齢林分における病虫害の実態調査	厚真町、むかわ町、安平町	胆振支庁
5/15-16		中富良野町、南富良野町	上川支庁
9/3		津別町	網走支庁
10/9-10		美瑛市、雨竜町	空知支庁
11/17-18		幕別町、豊頃町	十勝支庁
6/25	カラマツハラアカハバチ発生状況調査	京極町、真狩村	胆振支庁

5 普及指導計画に基づく調査研究

カラマツ高齢林分における病虫獣害の実態調査

担当科名：普及指導員室

研究期間：平成19年度～20年度

区分：調査研究

研究目的

森林の持つ多面的な機能を高度に発揮させるための施業の一つとして長伐期施業を推進しているが、長伐期施業の実施には長期間に及ぶ健全な成長が不可欠である。しかし、カラマツ高齢人工林では健全な成長の障害となる腐朽被害など病虫獣害が発生している中、民有林においては実態調査があまりなされていない状況にあるため、早急に被害実態とその発生要因を調査する必要がある。

このことから、民有林のカラマツ高齢林分における病虫獣害の実態とその発生要因を明らかにし、長伐期施業の技術指導に活用する。

研究方法（調査地概要や調査方法）

調査地や材料について

十勝、網走東部、上川南部、空知、胆振東部地方カラマツ40年生以上の皆伐、帯状、孔状伐採跡地を対象として調査

調査項目や分析方法について

根株腐朽の大きさと個数、キズ・野ネズミによる食害の有無、地況調査、施業経歴など

研究成果

1 調査概要

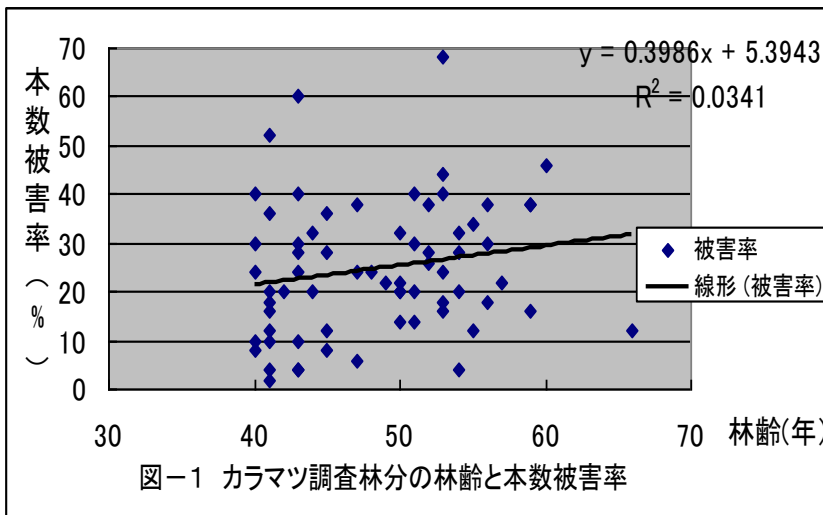
表－1 根株腐朽調査実施箇所

調査地域	18年度	19年度	20年度	計
空知地域	2	11	5	18
上川南部	3	4	6	13
網走東部	6	4	2	12
胆振東部	0	5	6	11
十勝地域	2	7	4	13
計	13	31	23	67



写真1 根株腐朽調査の様子で、伐根を清掃して番号を付して、長径と短径を測定。

2 調査林分の林齢と本数被害率



根株腐朽の本数被害率（1林分当たり50本調査）は林分によって大きく数値に違いがあるが、林齢が高くなるにつれて大きく上昇する傾向は見られない。

森林計画課が作成したカラマツ（地位1～5）に基づきの地位別により分析を行ったが、地位3で相関がいくらか高いが大きな開きはない。

3 野ネズミの食害に対する被害形態

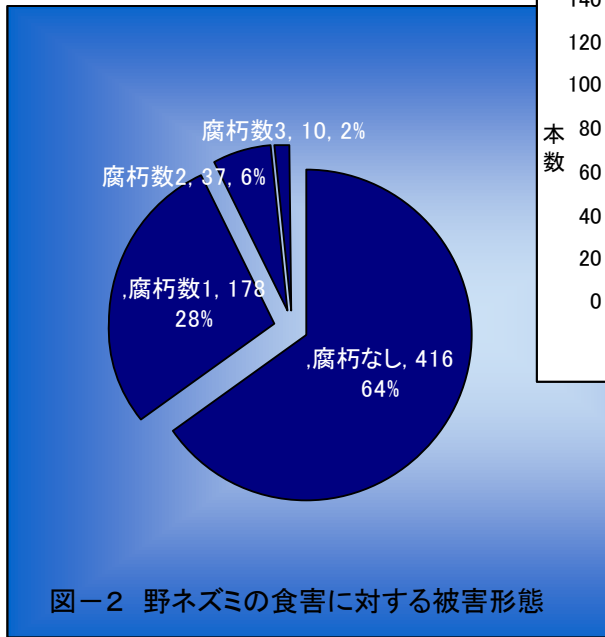


図-2 野ネズミの食害に対する被害形態

図-2の被害形態では、右写真のように野ネズミの食害を受けたが、腐朽していないものが64%を占めている。

図-3から野ネズミの食害を受け腐朽が認められた過半が辺材部にある。

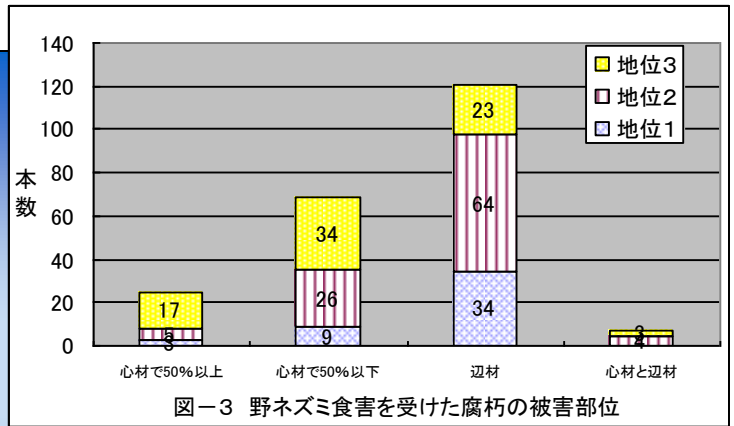


図-3 野ネズミ食害を受けた腐朽の被害部位



写真2 野ネズミの食害を受けたが、腐朽が認められるが、大きな腐朽とはなっていない（腐朽数1）

4 根株腐朽の腐朽部位別被害区分

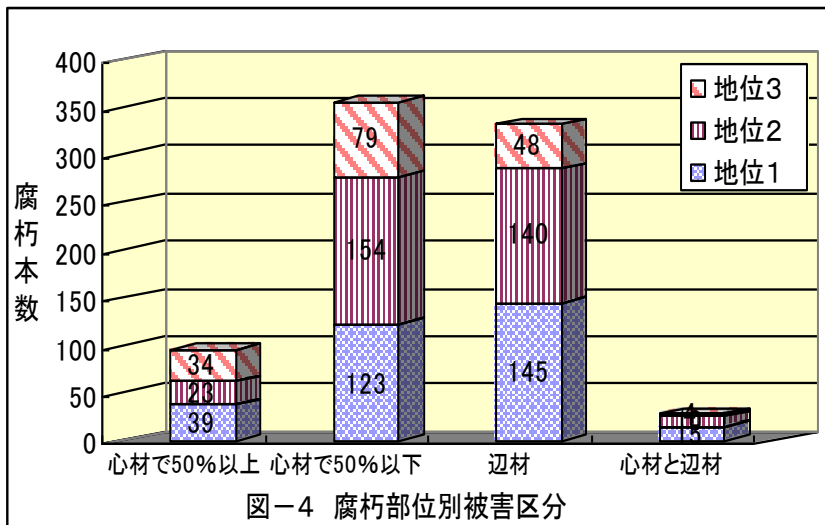


図-4 腐朽部位別被害区分

図-4から根株腐朽を発生部位別に見ると、「心材の腐朽のうち径の半分以下のもの」（総体の43%）と「辺材の腐朽」（総体の40%）とが大半を占めている。

研究成果の公表（文献紹介や特許など）

○吉田真巳（2009）高齢級カラマツの伐根を調査して。普及情報21年3月号，172:6p.